

勉誠出版

日本史研究会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: ea70d6dd96
(期限: ~2020年7月31日)

謹啓

向暑の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: ea70d6dd96 (期限: ~2020年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**（※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します）

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本史研究会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



最新刊のご案内

古文書の様式と国際比較

小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕／国立歴史民俗博物館〔監修〕

古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を通史的・総合的に論じ、また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。掲載図版 120 点超！ カラー口絵では、古文書の様式を分かりやすく図解。

本体7,800円(+税)・A5判上製・432頁・ISBN22272-9・2020年2月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



日本の表装と修理

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人〔編〕

絵画や書、古文書の表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、表装と修理にもつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての文化財保護の意義と意味を照射する。

本体7,000円(+税)・A5判上製・432頁・ISBN20073-4・2020年3月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



日本建築の歴史的評価とその保存

山岸常人〔著〕

歴史的建造物をどのように調査し、その特質を読み取るのか、どのように保存を行ってゆくべきなのか。長年にわたり調査・研究保存に携わってきた知見より、歴史的建造物を保存し将来に伝えて行くための考え方と具体的な事例を提示する。

本体 17,000 円(+税)・B5 判上製・672 頁・ISBN22268-2・2020 年 2 月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



古文書研究 第89号

日本古文書学会〔編〕

歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。その最前線を伝える学術雑誌。執筆者：大島創／高島廉／長崎健吾／中野等／刑部芳／濱本裕史／西光三／角和裕／金子拓／村井祐樹／河内春人／堀川徹／堀内淳一／山口博／岡村一幸。

本体3,800円(+税)・B5判並製・160頁・ISBN22416-7・2020年6月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



歴博甲本洛中洛外図屏風の研究

小谷量子〔著〕

芸術志向の近現代絵画とは異なる中世絵画の特徴をふまえ、歴博甲本に描かれた主題、注文者、そして作者を明らかにする。絵の中に巧に隠された「歌・物語」の中に、制作を命じた將軍のメッセージが残されている。

本体10,000円(+税)・A5判上製・524頁・ISBN22257-6・2020年2月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



日本近世社会と町役人

望月良親〔著〕

甲斐国の甲府町年寄を代々務めたとされる坂田家はどのようにして中世以来続く世襲町役人としての位置を確固たるものとし、近世社会を生きていったのだろうか。伝来の文書等諸史料の博搜により解明し、新たな近世社会の様相を描き出す。

本体6,000円(+税)・A5判上製・256頁・ISBN22266-8・2020年2月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容

北奥地域の事例研究

鈴木淳世〔著〕

19世紀前半、相次ぐ飢饉や財政窮乏などの社会状況の変化に対し、中間層である豪商・豪農たちはどのように対応していったのか。彼らの思想の形成過程を蔵書体系や書物受容から探り、「知」との関わりを解明する。

本体 10,000 円(+税)・A5 判上製・480 頁・ISBN22265-1・2020 年 2 月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



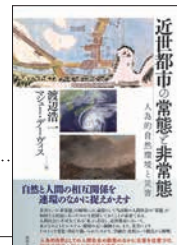
近世都市の常態と非常態 人為的自然環境と災害

渡辺浩一／マシュー・デーヴィス[編]

「水」に着目し、近世都市において、水がどのようなシステム・環境の元に制御され、災害によりどのような変化・対応を強いられたのかを、学融合・比較という観点から解明。人間社会の動態のなかに災害を位置づけ、環境史研究の新たな方法論を模索する。

本体7,000円(＋税)・A5判上製・240頁・ISBN22267-5・2020年2月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



江戸日本橋商人の記録 〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書

澤登寛聡・筑後則[編]

享保改革期から田沼時代・寛政改革・文化期まで活躍し、320年の歴史の基礎を築いた高津家三代・四代当主の活動を克明に記した日記・文書、その思想・人生哲学を伝える史料を初めて翻刻、解題・通釈を付して公開。商人・町人の暮らしを映し出す貴重資料。

本体11,000円(＋税)・四六倍判上製・352頁・ISBN22269-9・2020年3月刊行

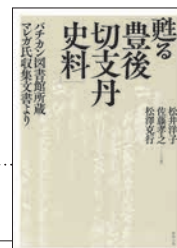


甦る「豊後切支丹史料」 バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より

松井洋子・佐藤孝之・松澤克行[編]

1942・46年に刊行されて以後、キリシタン研究に不可欠の基礎文献として用いられてきた『豊後切支丹史料』『続豊後切支丹史料』。2011年バチカン図書館発見の両書の原史料に基づき、改めて忠実に校訂・翻刻。さらに関連する史料を併せて提供する。

本体12,000円(＋税)・A5判上製・564頁・ISBN22261-3・2020年2月刊行



琉球船漂着者の「聞書」世界 『大島筆記』翻刻と研究

島村幸一[編]

『大島筆記』諸本のうち最も内容の備わった最善本を初めて全編翻刻、校異を付し、さらに琉球船の土佐への漂着に関する貴重資料『琉球船漂着記』『韓川筆話(抄)』『琉球人話』を収録。研究編として、論考六篇を収載した決定版。

本体10,000円(＋税)・A5判上製・472頁・ISBN29197-8・2020年3月刊行



スイス使節団が見た幕末の日本

ブレンワルド日記1862-1867

横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会[編]

スイスとの通商条約締結の過程や横浜での西洋人の生活、生麦事件発生当時の居留地の様子、幕末の外国商社の活動などを具体的に知ることができる一級資料であるブレンワルドの日記のうち1867年12月までのものを全編翻訳し初公開。図版点数111点！

本体9,800円(＋税)・A5判上製・570頁・ISBN22275-0・2020年6月刊行

詳細チラシも
ご覧ください



幕末明治の社会変容と詩歌

青山英正[著]

前近代以来継承された伝統文芸としての和歌、そして明治十年代に欧米詩の模倣から始まった新体詩の展開を、前近代から近代へと続く史的展開のなかに位置づけ、政治史・社会史・文化史など複合的な視点から社会的行為としての文芸の営みを描き出す。

本体10,000円(＋税)・A5判上製・496頁・ISBN29196-1・2020年2月刊行



渋沢敬三とアチック・ミュージアム

知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷

加藤幸治[著]

私設博物館兼研究所「アチック・ミュージアム」を開設した渋沢と、そこに集まった仲間たちの営為・思想から、人文学本来のかたちを体現する、学問を紐帯とした共同体の可能性と文化創造の在り方を探る。

本体3,500円(＋税)・四六判並製・364頁・ISBN22263-7・2020年1月刊行



荒れ野の六十年 東アジア世界の歴史地政学

與那覇潤〔著〕

東アジア世界が抱える摩擦の根源へ、古典と最新研究の双方を対照した先に見える新しい共存の地平とは。不毛な論争に終止符を打つ、気鋭の歴史学者による最後の論文集。

本体3,200円(+税)・四六判上製・392頁・ISBN222264-4・2020年1月刊行



日本画の所在 東アジアの視点から

北澤憲昭・古田亮〔編〕

「日本画」はどこから来たのだろうか。そして、これからどこへ行くのだろうか…。〈歴史〉〈領域〉〈表現〉という3つの視点から、東アジアという場における「日本画」の形成・展開の諸相を歴史的・文化的に把握し、「日本画」の概念を未来へとひらく画期的成果。

本体6,500円(+税)・A5判上製・320頁・ISBN27055-3・2020年4月刊行



描かれたマカオ ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史

貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇〔編〕

アヘン戦争などによって世界史がおおきく揺れた18～19世紀のマカオを描く版画・水彩画・写真などから当時のマカオの光と影を読み解くとともに、その未来像を探る。フルカラー・全編日英併記。

本体22,000円(+税)・A4判上製・238頁・ISBN22262-0・2020年4月刊行



メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像

森覚〔編〕

メディアが生成した宗教表象を受容することで、人々は、どのような仏教文化を生み出したのか。社会的に生み出された文化的所産である仏教的人物像の性質と機能を明らかにし、仏教文化に見られるメディア表現の創造と受容の実態へ迫る。

本体7,500円(+税)・A5判上製・352頁・ISBN21054-2・2020年5月刊行



上海におけるプロテスタント

現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷

村上志保〔著〕

国家によって宗教活動に対する様々な制限を受けながらも、現代を生きる中国プロテスタントたちの姿を、経済都市上海での豊富なフィールドワークを通して描く。急速な経済発展と社会の変化が宗教に与える影響を明らかにする。

本体6,000円(+税)・A5判上製・320頁・ISBN21055-9・2020年5月刊行



「本読み」の民俗誌 交差する文字と語り

川島秀一〔著〕

宗教的な講や田の水引きの農作業など村人が集まる機会に、独特の節回しで本を読んで聞かせる人びと、ホンヨミ。三陸地方を中心に、ホンヨミに触れてきた人びとへの直接の取材から浮かび上がる民俗社会を描き出す。

本体3,500円(+税)・四六判上製・320頁・ISBN23081-6・2020年6月刊行



医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界

陳捷〔編〕

医学・本草学・農学・科学に関する書物は、人びとの社会・生活に密着するものとして広く流通・展開している。これまで総合的に論じられることのなかった東アジアにおける情報伝達と文化交流の世界を、地域・文理の枠を越えて考究する画期的論集。

本体12,000円(+税)・A5判上製・456頁・ISBN20072-7・2020年2月刊行



明治が歴史になったとき アジア遊学 248

史学史としての大久保利謙

佐藤雄基〔編〕

政治家、官僚、軍人などの個人文書を集集・公開する国立国会図書館憲政資料室の創設に関わり、数々の史料編纂等、研究のための整備に尽力した大久保利謙。その足跡を史学史・史料論・蔵書論の観点を変え検証し、日本近代史研究の誕生の瞬間を描く。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・240 頁・ISBN22714-4・2020 年 6 月刊行



移動するメディアとプロパガンダ アジア遊学 247

日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術

西村正男・星野幸代〔編〕

戦中から戦後にかけて、映画、音楽、漫画、舞踊は政治的・文化的なプロパガンダとしての効果を発揮した。「プロパガンダ芸術＝移動するメディア」と、それを担った個人の思惑や彼らを動かした歴史・社会的な動態との関連を、人間模様を通して活写する。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・224 頁・ISBN22713-7・2020 年 4 月刊行



和漢のコードと自然表象 アジア遊学 246

十六、七世紀の日本を中心に

島尾新・宇野瑞木・亀田和子〔編〕

前近代の日本において、和漢の文化体系は、思考・感性の基盤として通奏低音のごとく響き続けた。列島における社会構造的・環境的転換期である十六～七世紀に着目し、文学、美術、芸能、歴史学等、分野横断的な視点から、自然と人との関係を問い直す。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・272 頁・ISBN22712-0・2020 年 4 月



アジアの死と鎮魂・追善 アジア遊学 245

原田正俊〔編〕

臨終や葬儀、鎮魂など儀礼の展開は、各時代、各地域において多様な様相をみせ、それらはアジア全体で共通する要素も多い。アジアにおける死と鎮魂についての文化を歴史学・思想史の立場から考察する。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・208 頁・ISBN22711-3・2020 年 3 月刊行



前近代東アジアにおける〈術数文化〉 アジア遊学 244

水口幹記〔編〕

幅広い文化的現象を統合する用語として〈術数文化〉というキーワードを設定し、これまでの研究では看過されがちであった理論・思想以外の事象—文学・学術・建築物などへの影響や受容—を対象とし、地域への伝播・展開の様相を通時的に検討する。

本体 3,200 円(＋税)・A5 判並製・312 頁・ISBN22710-6・2020 年 3 月刊行



中央アジアの歴史と現在 アジア遊学 243

草原の叡智

松原正毅〔編〕

中央アジアはスキタイと匈奴から始まり、突厥やモンゴルなど多様な遊牧民が活躍し、重層的名歴史を織りなした特に重要な舞台であり続けた地である。日本の研究者らが、聞き書き、考古学的発掘、希少文献を渉猟して行った学術研究の成果を提示する。

本体 2,400 円(＋税)・A5 判並製・192 頁・ISBN22709-0・2020 年 3 月刊行



中国学術の東アジア伝播と古代日本 アジア遊学 242

榎本淳一・吉永匡史・河内春人〔編〕

なぜ、東アジア地域のみが長らく中国文化を共有し続けたのか、中国文化を共有することによつてどのような歴史的意義があったのか。中国大陸に淵源をもつ学術が周辺諸地域に広がり、根付いた諸相をたどり、東アジア文化圏の形成・展開の実態を明らかにする。

本体 2,800 円(＋税)・A5 判並製・240 頁・ISBN22708-3・2020 年 1 月刊行



源実朝

アジア遊学 241

虚実を越えて

渡部泰明[編]

鎌倉幕府三代将軍、源実朝その生涯でいったい何をし得たのか。また、語りのなかで、人びとは実朝に何を投影してきたのか。歴史・文学・文化などの諸領域からの新知見を示し、日本史上における実朝の位置を明らかにする。

本体 2,800 円(+税)・A5判並製・216 頁・ISBN22707-6・2019 年 12 月刊行



書物学 第16巻 特殊文庫をひらく

古典籍がつながる過去と未来

編集部[編]

国内外に蔵書を誇り、また古典籍の研究機関として名高い、大東急記念文庫、東洋文庫、斯道文庫、金沢文庫、静嘉堂文庫。特定分野の書物をコレクションする図書館「特殊文庫」5館をピックアップし、その魅力・来歴・蔵書を紹介。

本体 1,500 円(+税)・B5判並製・96 頁・ISBN20716-0・2019 年 7 月刊行



文化情報学事典

村上征勝[監修]／金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平[監修]

文化現象をデータ・サイエンスで読み解く総合事典。個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、データ・サイエンスという理系の横の糸で編みあげる文理融合型のアプローチ「文化情報学」の集大成としての一冊。

本体 18,000 円(+税)・A5判上製・850 頁・ISBN20071-0・2019 年 12 月刊行



項目一覧

*項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]

文学・文献の計量分析／計量文献学／計量文体論／平安朝物語の計量分析／西鶴遺稿集の著者問題／『今昔物語集』の文体／中古和文における個人文体とジャンル文体／現代日本語の計量文体論／現代文におけるジャンル別の文体的特徴／論述文の文体的特徴／個人の文体変化／文体模倣の計量分析／川端康成の代筆疑惑／社会学におけるテキスト分析／ツイッターにおけるテキストの計量分析／SNSにおける計量テキスト分析／法科学分野の文章の計量分析

[A2 言語]

言語／コーパス言語学／書き言葉コーパス／話し言葉コーパス／学習者コーパス／形態素解析／構文解析／シソーラス／文字コード／方言地図とGIS／社会言語学調査／音声処理／言語系統論／機械翻訳

[A3 考古・歴史]

デジタル化時代の考古学・歴史学／考古遺物の数量分類／考古資料のデジタル記録／考古学における年代測定法・同位体分析／元素分析による土器の産地推定／地磁気による考古学的調査／地中レーダーによる遺跡探査／考古学におけるGIS／水中考古学とデジタル技術の利用／自然人類学と歴史研究／災害考古学／全国遺跡報告総覧／古文書に対する文字認識技術／情報考古学／民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]

学／計量地理学／地理情報システム／地理空間情報／地理情報科学／歴史GIS／地理人文学／ジオ・ビッグデータ(空間ビッグデータ)／景観分析／記憶地図／空間人文学と文学／デジタル地域学

[A5 文化・芸術]

文化・芸術と文化情報学／絵画／工芸品／服飾文化／無形文化のデジタルアーカイブ／映像・ゲーム・映像アーカイブ／出版文化・書物学／書物学(近代)／電子出版／音楽・音響／美術品・考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]

身体文化・行動計量／演劇／ダンス／演奏／お笑い／身体性認知／赤ちゃん学／スポーツバイオメカニクス／他者性／共同作業／アフォーダンス／身体性メディア技術／インタラクション

[A7 コンピューター・情報]

コンピューターと文化情報学／ビッグデータ／ソーシャルネットワーク／機械学習／深層学習／音声認識／デジタルミュージアム／情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]

文化情報学の源一数の発見とコンピューター／データの分類法／データの要約一度数分布表・グラフ・統計量／データに基づく推論／推定と検定／多変量解析

[B2 量的分析法]

量的変数と分析手法／量的データからの統計的推測／重回帰分析／新指標作成のための主成分分析／主成分分析の探索的活用／探索的因子分析／因果構造と検証的因子分析／分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法／テキストマイニングと可視化／潜在トピック分析／イメージマイニングと人工知能／空間統計学／データの欠測値処理

[B3 質的分析法]

質的分析法／離散変数の分布／比率の推定と検定／適合度検定／分割表の解析／対数線形モデル／ロジスティック回帰分析／潜在クラス分析／数量化Ⅰ類・Ⅱ類／数量化Ⅲ類／対応分析／項目反応理論／文化系統学／計量的文明論—林の数量化Ⅲ類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト／計量テキスト分析のための自由(フリー)ソフトウェアKH Coder／テキスト分析ツールRMeCab／多言語テキスト統計分析ツールMTMineR

◎付表 ◎索引

自然史・理工系研究データの活用

デジタルアーカイブ・ベシックス3

井上透[監修]／中村覚[責任編集]

オープンサイエンスや研究データなどのトピックスを交えて、高等教育機関、自然史・理工系博物館、研究機関が開発・運用しているデータベースやWebサイトを紹介し、天文学、生物学、地球惑星科学、環境学など、自然科学分野における取り組みを一望。

本体 2,500 円(+税)・A5判並製・240 頁・ISBN20283-7・2020 年 4 月刊行



小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕

古文書の様式と国際比較

東アジア古文書学構築のために――

いまを生きるわれわれに
歴史の一場面を伝えてくれる史料、古文書。
そこに記された内容のみならず、
文字の配置や大きさ、料紙の選択、印の位置など、
「モノ」として残るその形もまた、
古文書の特つ様々な意味と機能を伝える貴重な情報源である。
古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を
通史的・総合的に論じ、
また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。
日本の古文書の特質を浮き彫りにし、
東アジア古文書学の構築のための基盤を提供する画期的成果。

二〇一八年秋に国立歴史民俗博物館にて開催され、SNS等でも大きな話題となった企画展示「日本の中世文書——機能と形と国際比較」。その関連シンポジウムおよびフォーラムを一書にまとめた貴重な一冊。歴史ファン・古文書ファン待望の一冊。

〔編者プロフィール〕……………

小島道裕（こじま みちひろ）

国立歴史民俗博物館 総合研究大学院大学教授
専門は日本中世史。

田中大喜（たなか ひろき）

国立歴史民俗博物館 総合研究大学院大学准教授
専門は日本中世史。

荒木和憲（あらき かずのり）

国立歴史民俗博物館准教授
専門は日本中世史・東アジア交流史。

〔目次〕

《カラー口絵》図解でわかる文書様式

はじめに……………小島道裕

第1部 日本の文書様式とその変遷

1 古代の文書と中世への展開

古代日本における「文書」の誕生……………小倉慈司
「詔勅」における口頭伝達の役割……………仁藤敦史
中世日本における書状の広がり……………佐藤雄基
——古代書状論「公文書化」論を中心にして……………佐藤雄基

2 中世文書の諸相

將軍の文書と武士団の文書……………田中大喜
寺院文書の特性……………横内裕人
——衆議文書の形成とその背景……………横内裕人

3 戦国大名の文書と近世への展望

戦国大名の文書と天下人の文書……………金子 拓
戦国大名の印判状について……………金子 拓
——北条氏の「虎の印判」は東アジア標準か……………小島道裕

第2部 東アジアの古文書と日本の古文書

1 韓国の古文書をめぐって

朝鮮王朝の国王文書……………川西裕也
日本と韓国の署名・花押比較……………朴 竣鎬（稲田奈津子訳）
朝鮮時代における私人間の契約文書……………文 叔子（稲田奈津子訳）
東アジア古文書の中の画指……………三上喜孝

2 中国の古文書をめぐって

中国古文書学概論……………黄 正建（江川式部訳）
——公文書の様式研究を例に……………黄 正建（江川式部訳）
明清時代の「信牌」……………阿 風 黄（素英訳）
日本古代における中国文書様式の受容と変容……………丸山裕美子

3 東アジアの文書と外交の文書

中世日本の往復外交文書……………荒木和憲
——十五・十六世紀の現存例を中心として……………荒木和憲
安南日越外交文書の様式と伝束……………藤田励夫
イルハン朝（モンゴル支配期イラン）の公文書……………四日市康博

総括 文書実践としての中世文書史……………高橋一樹
あとがき……………小島道裕
執筆者・翻訳者一覧

本体 7,800 円(+税)

A5 判上製カバー装
カラー口絵 16 頁 + 本文 416 頁
ISBN 978-4-585-22272-9 C3020
2020年2月刊行

書 名	部 数
古文書の様式と国際比較 小島道裕・田中大喜・荒木和憲〔編〕 国立歴史民俗博物館〔監修〕	部
本体 7,800 円(+税) A5判上製カバー装 カラー口絵16頁+本文416頁 ISBN978-4-585-22272-9 C3020 2020年2月刊行	
ご送付先ご住所（通信欄）	

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人

編

日本の表装と修理

装い、繕い、伝える――

絵画や書、古文書など、紙や絹を用いた文化財は、表装によって、より美しく、より長くその存在を守られ続ける。

これらの歴史的遺産を修理・保存し、伝えていくことは、込められた人々の思い・願いをも共有していく営みである。

表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたもののなか。

文化財の修理・保存の第一線にあり、その困難な作業の中で、

技術者たちはどのような試行錯誤を重ねてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、

表装と修理にまつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての

文化財保護の意義と意味を照射する。

【編者プロフィール】

岩崎奈緒子（いわさき・なおこ）

京都大学総合博物館教授。専門は日本近世史。

中野慎之（なかの・のりゆき）

文化庁文化財第一課文部科学技官（絵画部門）。専門は美術史。

森道彦（もり・みちひこ）

京都国立博物館研究員（中世絵画）。専門は中世絵画。

横内裕人（よこうち・ひろと）

京都府立大学教授。専門は日本中世史。

【むく】

口絵
はじめに

参考 文化財の構造と名称

第一部 現代の装演・文化財修理

装演師の声を聞く

――技術者から見た装演文化財修理の進化◆岩崎奈緒子
表具師から装演師へ◆岡興造
古文書修理の歴史と理念◆湯山賢一

第二部 表装の文化史

日本中世の仏画の表装◆谷口耕生

「東山表具」の成立をめぐる小考◆板倉聖哲
江戸宗玩による表具の記録と制作◆門脇むつみ

表装が伝えるもの――後水尾院縁の掛軸を事例として◆高田智仁

近代日本における中国書画蒐集と表装◆竹浪遠
近代日本画の材料と表装◆中野慎之

第三部 修理の文化史

平安時代の仏画制作とその修理◆増記隆介

前近代における書跡・古文書修理の諸相
――現状維持の理念をめぐる◆横内裕人

護持院隆光の寺社修理――元禄期の奈良を中心に◆古川攝一
近世における障壁画の保存と継承◆森道彦

近世ヨーロッパ美術と修復
――芸術作品の受容史の視点から◆平川佳世

あとがき

執筆者一覧



裱人物肖像
絹本着色江戸時代（十九世紀）
（京都府蔵（京都文化博物館管理））

本体 7,000 円(+税)

A5判上製・カラー口絵 8 頁+424 頁
ISBN 978-4-585-20073-4 C1000
2020 年 3 月刊行

書名	部数
日本の表装と修理	
岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 [編]	
本体 7,000 円(+税)	
A5判上製・カラー口絵 8 頁+424 頁	
ISBN 978-4-585-20073-4 C1000	
2020 年 3 月刊行	
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

日本建築の 歴史的評価と その保存

山岸常人〔著〕

（やまさし・つねと）
京都大学名誉教授。専門は日本建築史。
工学博士（東京大学）。
主な著書に『中世寺院社会と仏堂』（塙
書房、平成2年）、『中世寺院の僧団・
法会・文書』（東京大学出版会、平成
16年）、『塔と仏堂の旅 寺院建築から
歴史を読む』朝日選書772、朝日新聞社、
平成17年）などがある。

〔目次〕

序 歴史的建造物の調査・研究と保存

第一部 建築遺構の歴史的評価

第二部 近世寺社建築を読む
—— 調査方法と近世建築の特質 ——

第三部 地域における近世寺社建築の特質

第四部 民家の技法と特質

第五部 工匠と建築

第六部 発掘遺構の復元的考察

第七部 文化財建造物の保存修理の理念と方法

第八部 震災と文化財

あとがき／成稿一覧／図版 表出典一覧／索引

私たちをとりまく社会・環境には、
様々な時代に建てられた多種多様な建造物が混在している。
これらの建造物は、過去から現在まで積み重ねられた記憶、
即ち歴史の蓄積を伝えており、
それらが残され、使いつけられることにより、
生活を豊かで味わいのあるものとしている。
しかし、経済優先の現代社会においては、
三面的かつ短絡的な価値判断により、
多様な価値を有する歴史的建造物の意義が見失われ、
破壊や場当たりの改変がなされている。
歴史的建造物をどのように調査するのか、
調査した建造物の特質をどのように読み取るのか、
その特質を踏まえてどのように保存を行つてゆくべきなのか、
その保存のための制度の課題は何か。
長年にわたり調査・研究・保存に携わってきた知見より、
歴史的建造物を保存し将来に伝えて行くための考え方と、
その具体的な事例を提示する。

本体 一七、〇〇〇円（＋税）

B5判上製カバー装・六七二頁
二〇二〇年三月刊行
ISBN978-4-585-22268-2 C3021

書 名	部 数
日本建築の歴史的評価とその保存 山岸常人〔著〕	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

日本近世社会と町役人

望月良親 [著]

本体 六,〇〇〇 円 (+税)
A5判上製カバー装・二五六頁
二〇二〇年二月刊行
ISBN978-4-585-22266-8 C3021

日本近世社会において、都市の支配者である武士と民衆との結節点を担った町役人。

彼らは如何にして自身の家を存続させていったのか――

商人などの新興勢力とのせめぎあいの中で、

彼らはその職掌を守るべく、

様々な手立てを講じていた。

甲斐国の甲府町年寄を代々務めたとされる坂田家。

十七世紀半ばから幕末期にかけての社会変容の中で、

彼らはどのようにして中世以来続く

世襲町役人としての位置を確固たるものとし、

近世社会を生きていったのだろうか。

伝来の文書等諸史料の博搜により明らかにし、

新たな近世社会の様相を描き出す。

「著者プロフィール」……………

望月良親 (もちづき・よしちか)

高知大学人文社会科学系教育学部門講師。専門は日本近世史。論文に「近世の町役人と記録——甲府町年寄坂田信齋の明治維新」(『海南史学』57、二〇一九年)、「近世長良川鵜飼観覧研究序説」(『岐阜市歴史博物館研究紀要』24-1、二〇一九年)、「幕末の美濃国と幕府領——文久元年の箱訴と私領化の風聞」(『岐阜市歴史博物館研究紀要』23、二〇一七年) などがある。

「目次」……………

はしがき

序 章 近世都市史研究の課題と本書の構成

近世都市史研究の現在／町役人の研究をめぐって／分析対象の概観／本書の構成

第一章 町役人の系譜——坂田忠家と甲府町年寄

一七世紀後半の甲府と甲府町年寄／甲府町年寄の盛衰／坂田家の「筋目」と甲府町年寄

第二章 享保期における町役人の変容

——享保九年の甲斐国幕領化を事例に
享保九年柳沢吉里の転封と町方／「久敷事をも覚罷在候者」

第三章 町役人と將軍年始参上

將軍年始参上の許可／江戸参上の由緒形成／「先格」の実像／安永六年の將軍年始参上／寛政六年の変化

第四章 幕領の町役人と江戸——江戸へ去る幕府役人

安永六年の甲府町年寄坂田忠亮と將軍年始参上／甲府町年寄と江戸

第五章 甲州騒動と「御救」

思い起こされる天明七年の「御救」／甲州騒動後における甲府の「御救」／幕末の「御救」

第六章 移動する將軍と町役人の將軍年始参上

町役人はどこに行く／將軍が居る畿内／江戸に集う町役人

終 章 近世都市と町役人の家

甲府町年寄と坂田家／町役人の家／町役人の近代／都市史を拓くために

あとがき／初出一覧／索引

書 名	部 数
日本近世社会と町役人 望月良親 [著]	本体6,000円(+税) A5判上製カバー装・256頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-22266-8 C3021
ご送付先ご住所 (通信欄)	

きんせいこうしやう・こうのうの(いへ) けいえいとしもつじゆよう

近世豪商・豪農の 《家》経営と書物受容

鈴木淳世〔著〕

北奥地域の事例研究

「知」はどのように彼らの行動を規定したか――

十九世紀前半、相次ぐ飢饉や財政窮乏などの社会状況の変化に対し、
中間層である豪商・豪農たちはどのように対応していったのか。

北奥・八戸藩において対照的な行動をなした豪商と豪農の二人の人物を取り上げ、
その行動の背景にある思想の形成過程を蔵書体系や書物受容から探り、
村・町などの共同体との共生において、
「知」がどのように関わっていたのかを鮮やかに描き出す。

【目次】

まえがき

序 章…本書の課題

第一章…淵沢定啓の蔵書形成

第二章…淵沢定啓の書物受容

第三章…淵沢定啓の経営思想

第四章…淵沢定啓の鉄山支配

第五章…石橋憲勝の経営思想

第六章…八戸藩領の書物流通

終 章…本書の成果と今後の課題

あとがき・初出一覧・索引



【著者プロフィール】

鈴木淳世(すずき・よしとき)

一橋大学院社会学研究科特任講師。専門は日本近世史。

主要論文に、「十九世紀前半における『鉄山支配人』の性格——八戸藩領「中間層」の場合」(『一橋社会科学』五二〇一三年)、「近世後期八戸藩の豪農による書物受容の特質——淵沢
田右衛門定啓の場合」(『歴史』一二二、二〇一四年)、「近世中期城下町商人の経営思想——
八戸城下・石橋徳右衛門憲勝の場合」(『人民の歴史学』二〇二二、二〇一四年)などがある。

本体 一〇、〇〇〇 円(+税)

A5判上製カバー装・四八〇頁

二〇二〇年二月刊行

ISBN978-4-585-22265-1 C3021

書 名	部 数
近世豪商・豪農の《家》経営と書物受容——北奥地域の事例研究 鈴木淳世〔著〕	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

本体 10,000 円(+税)

A5判上製カバー装・480頁

2020年2月刊行

ISBN978-4-585-22265-1 C3021

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容

——北奥地域の事例研究

鈴木淳世【著】

本体一〇、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装・四八〇頁
二〇二〇年二月刊行
ISBN978-4-585-22265-1 C3021

【目次】

まえがき

序 章 本書の課題

はじめに

第一節 研究史整理

第二節 本書の課題

第三節 八戸藩の概要

第一章 淵沢定啓の蔵書形成

はじめに

第一節 軽米町淵沢家の概要

第二節 淵沢定啓の蔵書形成

第三節 『四書示蒙句解』抜書の特徴

おわりに

第二章 淵沢定啓の書物受容

はじめに

第一節 天保期の書物受容

第二節 弘化・嘉永期の書物受容

第三節 安政期の書物受容

おわりに

第三章 淵沢定啓の経営思想

はじめに

第一節 淵沢家経営の概況

第二節 「国産」政策への関与の影響

第三節 飢民救済活動の責務

おわりに

第四章 淵沢定啓の鉄山支配

はじめに

第一節 「鉄山支配人」の性格

第二節 「鉄山支配人」の経営

おわりに

第五章 石橋憲勝の経営思想

はじめに

第一節 寛延・宝暦飢饉の影響

第二節 石橋憲勝の飢饉対策

第三節 石橋憲勝の書物受容

おわりに

第六章 八戸藩領の書物流通

はじめに

第一節 「大仲間」の概要

第二節 「大仲間」以外の活動

第三節 「書物仲間」の影響

おわりに

終 章 本書の成果と今後の課題

はじめに

第一節 北奥地域の《地域性》

第二節 十九世紀前半の《時代性》

第三節 益軒研究に関する論点

おわりに

あとがき

初出一覧

索引

編

渡辺浩一

(わたなべ こういち)

マシュー・デーヴィス

(Matthew Davies)

人間文化研究機構国文学研究資料館・総合研究大学院大学文化科学研究科教授。
専門は日本近世史。著書に『江戸水没 寛政改革の水害対策』(平凡社、2019年)などがある。

ロンドン大学バーベック校教授。専門は近世ロンドン史。
著書に『Medieval Merchants and Money』(共編著 London, Institute of Historical Research, 2016) などがある。

近世都市の 常態と非常態

人為的自然環境と災害

自然と人間の相互関係を連環のなかに捉えかえす――

災害という「非常態」の解明には、前提として当該期の人間社会の「常態」が如何なる状況にあったのかを把握しておくことが必要である。

人間社会に不可欠である「水」に着目し、

近世都市において、水がどのようなシステム・環境の元に制御され、

また、災害によりどのような変化・対応を強いられたのかを、

学融合・比較という観点から解明。

人為的自然としての人間社会の動態のなかに災害を位置づけ、

環境史研究の新たな方法論を模索する。

●もくじ

凡例

序 章 近世都市の常態と非常態：渡辺浩一

第一部 後背地と人為的自然環境

江戸の水害と利根川・多摩川水系：渡辺浩一
自然改造の結果としての都市空間：江戸・石神裕之
嵐・洪水とロンドンの発展

――二二〇〇―一五〇〇年：マシュー・デーヴィス(金崎邦彦訳・石津美奈校閲)

第二部 インフラの機能と維持

遺跡からみた都市江戸の上下水道の管理：石神裕之
江戸城堀の浚渫について

――一七六五年(明和二)の岡山藩による堀浚を中心に：岩淵令治
堀川の浚渫と土砂堆積、そして洪水――江戸・本所・深川の地域的特質：高橋元貴
ロンドンの川に橋を架ける――ロンドン橋の建設・維持とテムズ川の管理

……ヴァネッサ・ハーディング(小風尚樹訳・木村晶子校閲)
一七世紀ロンドンにおける大寒波の影響と市民の対応：菅原未宇

第三部 水害と対応

一八五六年(安政三)東日本台風経路の復元：平野淳平・財城真寿美
一八五六年(安政三)東日本台風の被害状況と江戸の対応：渡辺浩一
氾濫を防げ――一八世紀後半のブラハ(ボヘミア)における行政組織の洪水管理政策

……オンドジェイ・フデチュク(長谷川祐平訳・春山雄紀校閲)

あとがき／執筆者・翻訳者・校閲者一覧／英文目次・序章英訳／奥付

本体七、〇〇〇円(+税)

A5上製カバー装・二四〇頁

二〇二〇年二月刊行

ISBN978-4-585-22267-5 C3020

書名	部数
近世都市の常態と非常態 人為的自然環境と災害 渡辺浩一／マシュー・デーヴィス [編]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

本体7,000円(+税)

A5判上製カバー装・240頁
ISBN 978-4-585-22267-5 C3020
2020年2月刊行

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025



生麦事件の現場写真



『日本図絵』より寺子屋

【編者紹介】
横浜市ふるさと歴史財団(横浜開港資料館)
 一九八一年六月二日の開港記念日に開館。ベリール来航前後から関東大震災までの横浜の歴史に関する資料を収集、年四回の企画展示を開催している。
ブレンワルド日記研究会
 二〇〇九年六月に発足した横浜開港資料館の専門職と外部の研究者によって組織される研究会。カスパー・ブレンワルドが記した日記の解説にあたりしている。



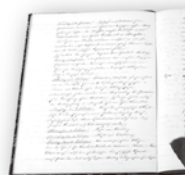
横浜休日
異人遊行之図

- 【目次】
 カラー口絵
 序言
 第一章 ● スイス通商使節団の日本派遣
 第二章 ● 生麦事件勃発の影響
 第三章 ● フランス軍将校カミユの暗殺
 第四章 ● 日瑞修好通商条約締結へ
 第五章 ● スイスへ帰国して
 第六章 ● 日本での起業に向けて
 第七章 ● スイス領事に任命されて
 〈附録〉 ● エーメ・アンベール著『日本図絵』に描かれた幕末の日本
 第八章 ● シェイベル・ブレンワルド社の活動
 第九章 ● 慶応三(一八六七)年を迎えて
 索引

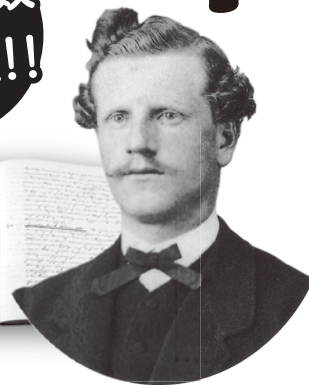
開国・明治維新にゆれる幕末日本を
 外国人の目から活写した一級資料、初公開！
 一八六三年四月、日本・スイス間の通商条約締結の
 使節団の一員として来日したカスパー・ブレンワルド。
 彼の日記のうち、一八六二年十二月から
 一八六七年十二月までのものを全編翻訳し初公開。
 使節団としてともに行動したエーメ・アンベールの
 『日本図絵』ほか、新聞挿絵、浮世絵、古地図など、
 横浜開港資料館所蔵の貴重図版資料とともに、
 幕末日本において政治・経済に奔走した外国人の
 足取りを紹介する。

スイス使節団が見た 幕末の日本 ブレンワルド日記 1862-1867

図版点数
111点!!



ブレンワルド日記



カスパー・ブレンワルド

本体 **9,800** 円(+税)

A5判・上製カバー装・口絵16頁+本文554頁
 ISBN978-4-585-22275-0 C3021
 2020年6月発売

横浜市ふるさと歴史財団
 ブレンワルド日記研究会【編】

書名	部数
スイス使節団が見た 幕末の日本 ブレンワルド日記1862-1867 横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会【編】	本体 9,800 円(+税) A5判・上製カバー装 口絵16頁+本文554頁 2020年6月発売 ISBN978-4-585-22275-0 C3021
ご送付先ご住所(通信欄)	部

古代の日本と東アジア 人とモノの交流史

鈴木靖民〔著〕

東アジア諸国は如何に形成され、展開したのか。文献資料、最新の考古学的成果を博搜し、地政学、ヒト・モノ・文化の交流の視点より日本および東アジアの歴史的展開を浮き彫りにする、長年にわたり東アジア古代史研究を牽引する碩学による最新論集。

【目次】はじめに◎Ⅰ 王権の始原・交易の力◎1 加耶史の展開と倭◎2 加耶の形成と対外交流——一～三世紀◎3 倭国の形成と加耶——四～五世紀◎4 加耶文化の北方的要素◎5 弥生後期、根塚遺跡と東アジア◎Ⅱ 中心化する周辺・あらがう周辺◎1 広開土王碑にみえる「倭」◎2 五世紀、高句麗の王陵・祭祀・王統譜——集安高句麗碑小考◎3 五世紀の倭国と東アジア◎4 反正天皇（珍）の人物像——記紀、宋書を通して◎Ⅲ 外交の形・移動する文化◎1 新羅の倭典と上表◎2 半跏思惟仏像をめぐる倭と百済・新羅——七世紀◎3 古代日本の文化形成に寄与した朝鮮の人びと——七世紀を中心として◎4 古代日本列島の遠距離交流と文化伝播◎Ⅳ 交流する国家・媒介する中国◎1 日本古代国家のなりたちと東アジアの交流◎2 『古事記』『日本書紀』にみえる女性像——古代国家と周縁◎3 渤海国の首領と交易——史的特質をめぐって◎4 シルクロード・東ユーラシア世界と古代日本◎おわりに◎索引

本体 10,000 円（＋税）・A5 判上製・450 頁・ISBN22279-8・2020 年 6 月刊行予定



新羅中古期の史的研究

武田幸男〔著〕

とくに飛躍的な発展を見せた新羅中古期（五一四～六五四年）を中心に考究。陸続と発見された各種の新羅碑文を諸史料とともに精緻に読み込むことにより、当時の激動する東アジアの国際関係における、新羅の史実態とその展開過程を明らかにする。

【目次】序言◎第一編 新羅官位制の研究◎第一章 新羅・法興王代の律令と衣冠制◎第二章 金石文資料からみた新羅官位制◎第三章 新羅官位制の成立◎第四章 新羅官位制の成立に関する書書◎第二編 新羅「教事碑」の研究◎第一章 浦項・中城里碑の研究◎第二章 迎日・冷水里碑の立碑年次と「王教」主体◎第三章 蔚珍・鳳坪碑の「教事」主体と刑罰「執行」◎第四章 真興王代における新羅の赤城経営◎第五章 丹陽・赤城碑の「教事」主体と「教事」内容◎第三編 蔚州書石の研究◎第一章 顔のない人物像の彼方——古代の環日本海路に連なって◎第二章 「乙巳年原銘」と「己未年追銘」の研究——蔚州書石谷における新羅・葛文王一族◎第三章 蔚州書石「癸巳六月廿二日銘」の研究——新羅・沙喙部集団の書石谷行◎第四編 新羅支配体制の研究◎第一章 新羅六部とその展開◎第二章 新羅の法幢軍団とその展開◎第三章 新羅の二人派遣官と外司正——新羅地方檢察官の系譜◎第四章 私の新羅史探求の旅——新羅の国号・王号・王権とタロの系譜◎あとがき◎索引

本体 12,000 円（＋税）・A5 判上製・568 頁・ISBN22278-1・2020 年 6 月刊行予定



近世大名墓の考古学 東アジア文化圏における思想と祭祀

松原典明〔編〕

幕藩体制の社会構造、地域の政治・経済・文化・信仰についての歴史的背景を解明するための重要な歴史資料、近世大名墓所を考古学として文献学の知見より多角的に検討し、近世武士社会における為政者の思想とその実践の諸相を明らかにする。

【目次】はじめに（松原典明）◎総論 近世大名墓所調査の意義（坂詰秀一）◎Ⅰ 近世大名葬制の思惟と実践◎会津藩の思想と儒教・神道の実践（近藤真佐夫）◎彦根藩井伊家の墓所造営と変遷——清涼寺墓所の再検討（下高大輔）◎岡山藩の儒教受容とその本末——儒教の墓を中心にして（北脇義友）◎日出藩木下家の宗教思想と祭祀——神道・儒教受容の足跡と先祖祭祀の諸相（中尾征司）◎岡藩中川家の思想と実践——儒教受容とその展開（豊田徹士）◎近世後期の豊後日田における葬礼の実践について——廣瀬淡窓・咸宜園とその周辺（吉田博嗣）◎薩摩藩島津家の墓所造営と宗教（藤井大祐）◎近世大名墓誌の存否について（石田肇）◎Ⅱ 東アジア文化圏の思想受容と祭祀◎黄檗文化の受容とその実践——歴住と帰依大名の墓から（松原典明）◎黄檗宗の展開と近世大名の帰依（田中智誠）◎近世大名家における釈奠祭と礼祭の受容と変容——尾張藩徳川義直と姫路藩雅楽頭酒井忠道を事例として（楊桂香）◎【コラム】大名庭園に写された西湖堤（田中昭三）◎長崎唐通事の墓制とその起源（田中裕介）◎沖縄における儒教の実践（仁王浩司）◎朝鮮王朝の碑の文化と社会（篠原啓方）

本体 12,000 円（＋税）・B5 判上製・336 頁・ISBN22276-7・2020 年 6 月刊行予定



宋代中国都市の形態と構造

伊原弘〔著〕

宋代は中国の経済、文化が大きく発展した時代である。その結果、都市の構造や人々の生活も変化した。遺された貴重な地図や絵図などの史料を丹念に読み込み、唐と宋のあいだに横たわる画期を描き出す。

本体 4,500 円（＋税）・A5 判上製・360 頁・ISBN22069-5・2020 年 6 月刊行



好評書籍のご案内

* 表示価格には別途消費税がかかります。
* ISBN は 978-4-585 を 省略しています。

歴史

鎌倉北条氏人名辞典

菊池紳一〔監修〕／北条氏研究会〔編〕

諸系図に見える北条氏の一族を網羅、婚姻関係・有力被官（家臣）を加えた約 1100 項目を立項。充実の関連資料も附録として具備し、鎌倉時代の政治・経済を主導した鎌倉北条氏の全貌を明らかにする必備のレファレンスツール。

本体 18,000 円（＋税）・A5 判上製・720 頁・ISBN22255-2・2019 年 10 月刊行



北条氏発給文書の研究 附 発給文書目録

北条氏研究会〔編〕

北条氏の発給文書を網羅的に収集・検討し、時政以下、執権をつとめた各代、さらには頼朝、実朝など鎌倉殿の各代について、その足跡を歴史上に位置付ける。歴代の発給文書一覧も具えた、レファレンスツールとして必備の一冊。

本体 15,000 円（＋税）・B5 判上製・624 頁・ISBN22256-9・2019 年 10 月刊行

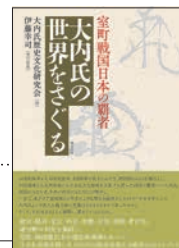


室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる

大内氏歴史文化研究会〔編〕／伊藤幸司〔責任編集著〕

政治・経済・文化・外交・宗教・文学・美術・考古等、諸分野の知見を集結し、室町・戦国期の歴史的展開において大きな足跡を残した大内氏の総体を捉える絶好のガイドブック。

本体 3,800 円（＋税）・A5 判並製・418 頁・ISBN22247-7・2019 年 7 月刊行



戦国期武田氏領の研究 軍役・諸役・文書

柴辻俊六〔著〕

戦国期の武田氏の領国支配の構造はいかなるものであったのか。権力基盤を構成していた家臣団及び在郷の諸階層による軍役・諸役の実態解明、当主発給文書や家臣団による文書の検討など、多面的な視点から、個別研究を総合する視点を提示する。

本体 9,800 円（＋税）・A5 判上製・400 頁・ISBN22248-4・2019 年 8 月刊行



京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝

平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館〔監修〕／長村祥知〔編〕

六角堂を皮切りに、清水寺、泉涌寺、壬生寺中院等々、京都市中の観音信仰の名利をめぐる「洛陽三十三所」。各札所の基礎情報とともに、初公開・初掲載も多数含む寺宝をすべてカラー図版で紹介。充実の解説とコラムも備えた絶好の道先案内書！

本体 2,800 円（＋税）・B5 判並製・272 頁・ISBN21053-5・2019 年 7 月刊行



由緒・偽文書と地域社会 北河内を中心に

馬部隆弘〔著〕

史的シンボルが群立し、「椿井文書」なる偽文書が地域の由緒に大きく関わる北河内地域を中心に、地域の優位性、淵源や来歴を語るために捏造された偽文書や由緒の生成・流布の過程を解明。地域史の再構築をはかり、歴史学と地域社会との対話を模索する。

本体 11,000 円（＋税）・A5 判上製・752 頁・ISBN22231-6・2019 年 2 月刊行



【重版出来】少年写真家の見た明治日本

ミヒャエル・モーザー日本滞在記

宮田奈奈／ペーター・パンツァー〔編〕

オーストリア出身の 16 歳少年写真家ミヒャエル・モーザー自身による日記・書簡類をひもとく、時代を浮かび上がらせる約 130 点の豊富な写真資料と共に彼の見聞した明治初期の世界を浮き彫りにする。

本体 6,500 円（＋税）・A5 判上製・400 頁・ISBN22209-5・2018 年 5 月刊行

重版出来！



近世・近現代文書の保存・管理の歴史

佐藤孝之・三村昌司〔著〕

近世は、幕府や藩、村方、商家等の文書、明治以降の近現代は、公文書や自治体史料などの歴史資料、修復やデジタルアーカイブなどの現代的課題に焦点を当てて、保存・管理システムの実態と特質を解明。

本体4,500円(+税)・A5判並製・352頁・ISBN22253-8・2019年10月刊行



パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦

菅豊・北條勝貴〔編〕

歴史学や社会学、文化人類学のみならず、文化財レスキューや映画製作等、さまざまな歴史実践の現場より、歴史を考え、歴史を生きる営みを紹介。パブリック・ヒストリーを考えるための日本初の概説書！

本体4,800円(+税)・A5判並製・512頁・ISBN22254-5・2019年10月刊行



古文書料紙論叢

湯山賢一〔編〕

歴史学・文化財学の最前線に立つ43名の執筆者の知見から、現存資料の歴史的・科学的分析や料紙に残された痕跡、諸史料にみえる表現との対話により、古代から近世における古文書料紙とその機能の変遷を明らかにする。

本体17,000円(+税)・B5判上製・896頁・ISBN22184-5・2017年6月刊行



日本の文化財 守り、伝えていくための理念と実践

池田寿〔著〕

文化財はいかなる理念と思いのなかで残されてきたのか、また、その実践はいかなるものであったのか。長年、文化財行政の最前線にあった著者の知見から、文化国家における文化財保護のあるべき姿を示す。

本体3,200円(+税)・四六判並製・352頁・ISBN20064-2・2019年3月刊行



紙の日本史 古典と絵巻物が伝える文化遺産

池田寿〔著〕

長年文化財を取り扱ってきた最先端の現場での知見を活かし、さまざまな古典作品や絵巻物をひもときながら、文化の源泉としての紙の実像、そして、それに向き合ってきた人びとの営みを探る。

本体2,400円(+税)・四六判並製・288頁・ISBN22176-0・2017年6月刊行



重版出来！

書籍文化史料論

鈴木俊幸〔著〕

チラシやハガキ、版權や価格、貸借に関する文書の断片など、人々の営為の痕跡から、日本の書籍文化の展開を鮮やかに浮かび上がらせた画期的史料論。京都書林仲間の実態を伝える新出史料全篇の翻刻・影印を収載！

本体10,000円(+税)・A5判上製・480頁・ISBN22240-8・2019年5月刊行



明治の教養 変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉

鈴木健一〔編〕

社会の基盤をなす「知」は、いかに変容していったか。和・漢・洋が並び立ち、混じり合いながら形成された、近代以降、現代まで続く教養体系の淵源を探る。

本体7,500円(+税)・A5判上製・368頁・ISBN29193-0・2020年1月刊行



新刊・近刊書籍一覧 注文書

No.	ISBN	書名	編著者	出版年	本体価	割引価格	注文数
◆最新刊							
1	22272-9	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編／国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	7,800	6,900	
2	20073-4	日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	7,000	6,200	
3	22268-2	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	17,000	15,000	
4	22416-7	古文書研究 第89号	日本古文書学会 編	2020/6	3,800	3,300	
5	22257-6	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	10,000	8,800	
6	22266-8	日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	6,000	5,300	
7	22265-1	近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容―北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/2	10,000	8,800	
8	22267-5	近世都市の常態と非常態―人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス 編	2020/2	7,000	6,200	
9	22269-9	江戸日本橋商人の記録―〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	11,000	9,700	
10	22261-3	甦る「豊後切支丹史料」―バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	12,000	10,600	
11	29197-8	琉球船漂着者の「聞書」世界―『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	10,000	8,800	
12	22275-0	スイス使節団が見た幕末の日本―ブレンワルド日記 1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記研究会 編	2020/6	9,800	8,600	
13	29196-1	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	10,000	8,800	
14	22263-7	渋沢敬三とアチック・ミュージアム―知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	3,500	3,100	
15	22264-4	荒れ野の六十年―東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	3,200	2,800	
16	27055-3	日本画の所在―東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	6,500	5,700	
17	22262-0	描かれたマカオーダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 編	2020/4	22,000	19,400	
18	21054-2	メディアのなかの仏教―近現代の仏教的人間像	森覚 編	2020/5	7,500	6,600	
19	21055-9	上海におけるプロテスタント―現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保 著	2020/5	6,000	5,300	
20	23081-6	「本読み」の民俗誌―交叉する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	3,500	3,100	
21	20072-7	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	12,000	10,600	
22	22714-4	アジア遊学 248 明治が歴史になったとき―史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	2,800	2,500	
23	22713-7	アジア遊学 247 移動するメディアとプロパガンダ―日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	2,800	2,500	
24	22712-0	アジア遊学 246 和漢のコードと自然表象―十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	2,800	2,500	
25	22711-3	アジア遊学 245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	2,800	2,500	
26	22710-6	アジア遊学 244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	3,200	2,800	
27	22709-0	アジア遊学 243 中央アジアの歴史と現在―草原の叡智	松原正毅 編	2020/3	2,400	2,100	
28	22708-3	アジア遊学 242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	2,800	2,500	
29	22707-6	アジア遊学 241 源実朝―虚実を越えて	渡部泰明 編	2019/12	2,800	2,500	
30	20716-0	書物学 第16巻 特殊文庫をひらく―古典籍がつなぐ過去と未来	編集部 編	2019/07	1,500	1,300	
31	20071-0	文化情報学事典	村上征勝 監修	2019/12	18,000	15,800	
32	20283-7	デジタルアーカイブ・ベーシック3 自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村覚 責任編集	2020/4	2,500	2,200	

◆近刊書籍							
33	22279-8	古代の日本と東アジア—人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/07	10,000	8,800	
34	22278-1	新羅中古期の史的研究	武田幸男 著	2020/07	12,000	10,600	
35	22276-7	近世大名墓の考古学—東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/06	12,000	10,600	
36	22069-5	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/06	4,500	4,000	
◆好評書籍							
37	22255-2	鎌倉北条氏人名辞典	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2019/10	18,000	15,800	
38	22256-9	北条氏発給文書の研究 附 発給文書目録	北条氏研究会 編	2019/10	15,000	13,200	
39	22247-7	室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる	大内氏歴史文化研究会編／伊藤幸司 責任編集	2019/07	3,800	3,300	
40	22248-4	戦国期武田氏領の研究—軍役・諸役・文書	柴辻俊六 著	2019/08	9,800	8,600	
41	21053-5	京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝	平成洛陽三十三所観音霊場会・京都府京都文化博物館 監修／長村祥知 編	2019/07	2,800	2,500	
42	22231-6	由緒・偽文書と地域社会—北河内を中心に	馬部隆弘 著	2019/02	11,000	9,700	
43	22209-5	少年写真家の見た明治日本—ミハヤエル・モーザー日本滞在記	宮田奈奈／ペーター・パントナー 編	2018/05	6,500	5,700	
44	22253-8	近世・近現代 文書の保存・管理の歴史	佐藤孝之・三村昌司 編	2019/10	4,500	4,000	
45	22254-5	パブリック・ヒストリー入門—開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2019/10	4,800	4,200	
46	22184-5	古文書料紙論叢	湯山賢一 編	2017/06	17,000	15,000	
47	20064-2	日本の文化財—守り、伝えていくための理念と実践	池田寿 著	2019/03	3,200	2,800	
48	22176-0	紙の日本史—古典と絵巻物が伝える文化遺産	池田寿 著	2017/06	2,400	2,100	
49	22240-8	書籍文化史料論	鈴木俊幸 著	2019/05	10,000	8,800	
50	29193-0	明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	7,500	6,600	

*リストに無い書籍をご注文の際は、こちらにお書きください

お申し込みは

Web Site●<https://bensei.jp>

FAX●03-5215-9025

E-mail●info@bensei.jp

勉誠出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-10-2
TEL 03-5215-9021

ご氏名	備考欄 *公費・私費の区別をお知らせください *公費の場合には、必要書類・宛名・日付の有無をお書きください
ご住所	
電話番号	